

2024年度・第1回未来会議(全体会)議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議(未来会議)会長 須都 紘
副会長兼書記・広報 伊藤 智子

日時: 2024年4月28(日)13:30~16:00

場所: いきいきホール大会議室

出席者(順不同、敬称略):

須都 紘(会長)、黒部 實(副会長)、伊藤 智子(副会長・書記・広報)、
鎌田 卓(事務局長・会計)、菊地雅夫(連合会長)、山田 修、山田 勲、
中世古 昭一、
オブザーバー: 中尾 節子、塚本 麻由
欠席: 黒田 勝行、渡辺 昇、平尾 英城

配布資料:

- ① 令和6年度第1回(4月)未来会議(全体会&懇談会)議題(案)
- ② 鹿ノ台未来まちづくり会議(未来会議)2023年度 決算収支報告書
- ③ 鹿ノ台未来まちづくり会議(未来会議)2024年度 予算書
- ④ 「鹿ノ台春まつり」アンケート集計結果
- ⑤ 2024鹿ノ台春まつり アンケート調査 来場者 意見・要望・感想
- ⑥ 2024鹿ノ台春まつり アンケート調査 出演者・出品者 回答集計表
- ⑦ 2024鹿ノ台春まつり アンケート調査 出演者・出品者 意見・要望・感想
- ⑧ 鹿ノ台春まつり総括(5名分+幹事会分)
- ⑨ 第一回鹿ノ台脱炭素まちづくり懇談会 議事録
- ⑩ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 乗車実績(人数) R6.3月度
- ⑪ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 利用状況 分析【令和6年3月度】

会長挨拶

一本年度は11名のメンバーでスタートする。

一本日の会議には、新連合会長の菊地さんが参加して下さいました。また、オブザーバーとして西1丁目の塚本さんが参加される。

一本日は、3月30日に無事終了した「鹿ノ台春まつり」の総括と、来年春に向けて今後の方向性についてご意見を頂き、話し合いたい。

2023年度決算・2024年度予算の報告

—2023年度決算については、4月5日に中世古さんに会計監査をしていただき、適正であると承認いただいた。

—春まつり関連の支出は、合計で19,560円だった。収入は、春まつり協賛金としてキッチンカー1台につき1,000円、合計6,000円の収入(雑収入)があった。

—印刷コピー代は例年と同程度の約16,335円だった。今回より外注の印刷代(11,410円)は別建てとした。

—中央公園利活用に関するワークショップの会場(ふれあいホール)使用料(3回)は10,480円(会議費)だった。

—2024年度予算(収入)は、本年度からの繰越金42,402円、および連合会からの運営助成金100,000円の合計142,402円を予定している。

—2024年度の予算の(支出)は、春まつり46,000円、子どもイベント10,000円、コピー代20,000円、機関紙「みらい」やチラシの外注印刷費12,000円、事務用品費15,000円など、当期支出として121,200円を見込んだ。

⇒承認

鹿ノ台春まつりの総括

当日はお天気に恵まれ、たくさんの来場者(主催者推計1500人)がキッチンカーやコンサート、フリーマーケット、子どもイベントなどを楽しんだ。春まつりを総括し、次年度以降の開催の是非を検討するために、来場者と出演者・出店者に向けて、それぞれアンケート調査を行った。

アンケート調査の結果(一般参加者);

午前と午後の2回に分けてアンケートを配布したが、午後には既に受け取っていた方が多く、あまり配布できなかった。合計215通の回答を回収し、集計を行った。(来場者1グループにつきアンケート1通をお願いしたため、回答して下さったグループの総人数は718名に相当する。)

—「訪問の目的」は、①キッチンカー(37.3%)、②コンサート(18.5%)、③お花見(12.3%)、④子供向けイベント(10.5%)、⑤フリーマーケット(10.3%)、⑥バンビカフェ(6.2%)、⑦ストリートオルガン(2.6%)、⑧健康太極拳(2.1%)だった。

—「良かった催し」としては、①キッチンカー(30.3%)、②コンサート(26.5%)、③子供向けイベント(12.6%)、④フリーマーケット(9.1%)、⑤バンビカフェ(7.4%)、⑥ストリートオルガン(5.3%)、⑦お花見(5.3%)、⑧健康太極拳(3.5%)だった。

—「何人で来られたか」という設問では、2~6名で来られた方は157組(204組)

に対して77%)、7名以上は10組(同5%)、合わせて82%、一人で来られた方は37名(同18%)で、家族や友人で連れだって参加された方が多かった。

—「春まつりを続けた方が良いか」という問いには、88%が「続けて欲しい」と回答している。

—参加者の居住地は、鹿ノ台北が68組、鹿ノ台東が47組、鹿ノ台西、43組、鹿ノ台南が20組、美鹿の台・鹿畑・うぐいす谷で合わせて24組、その他12組だった。参加者(代表者)の年代は、10～20代が21.4%、20～50代で41.9%、60代以上が36.7%だった。

—コメント欄は設けなかったが、コメントをいくつかいただいている。その多くが、キッチンカーに長蛇の列ができ、長時間待ったというご意見だった。中には待ちきれず、あきらめたというコメントもあった(キッチンカーへのご意見14通)。コンサートに関しては、演奏中のグループ名が分かるようにして欲しいという意見があった。桜がまだ開花していなかったことにも残念というコメントがあった。親子連れの方からは、楽しかったので是非またやって欲しいというコメントがあった。

アンケート調査の結果(出演者・出品者);

—出演者・出品者の方から23件の回答があった。「来場者・売り上げなどの成果があったか」という質問には、記入者の全員が「大いにあった(61%)」「まずまずだった(35%)」と答えている。「来年も出たいか」という質問には、70%が是非出たいと回答した。

—キッチンカーの出店者からも、キッチンカーの店舗数を増やした方が良いというコメントがあった。長蛇の列ができ、1名が4～5個購入されるので回らなかったというのが現実であり、来年以降に改善すべき課題である。

—出演者・出店者の方からは、たくさんの人が集まり大変楽しかったとのコメントをいただいた。フリーマーケットの出店者からは、子どもが無料で遊べるスペースがあって良かったとのコメントがあった。バンビカフェ出店者からは、来年の開催はスタッフ確保が課題であるとのコメントがあった。

実行委員メンバーの総括;

—多彩な楽しいイベントをプロデュースし、地域のにぎわいづくり、住民の世代間交流を図ることができた。運営にあたっては、できるだけ経費をかけず、未来会議実行委員会およびサポーターの協力を得て、ボランティアによる”手作り“のイベントとして実施した。開会式では小紫市長から来賓あいさつを頂いた。校区の他自治会にも春まつりの回覧を行い、参加して頂いた。

—事前には来場者数を800人～1000人と見込んでいたが、実際には1500人ほどになったので、キッチンカーの供給キャパシティを大幅に上回ってしまった。次回は来場者 30～50%増を見込んで開催時間、会場設営、出店者などを再構築する必要がある。

—商店街では、アットホーム、とりあん、いそかわなどにお客さんが殺到した。次回以降は、商店街やいそかわと事前協議の上連携し、春まつりシールを貼ったお

弁当などを売り出してもらおうなど、供給量を増やし、地元振興にもなるような企画にしたい。

—実行委員のメンバーが蓄積してきた情報や知見を活かし、1年かけて周到に準備してきたことが結果につながった。検討していた花見ツアー企画を取りやめ、中央公園のイベントに絞ったことも良かった。

—ストラックアウトでは、無料だったことが喜ばれた。また、年齢層ごとに投げる距離も変え、年齢層ごとに優勝賞品があったので盛り上がった。高齢者の方も関心を持って見に来られていたので、一緒に参加できるような企画があっても良いと思った。

鹿ノ台春まつりの継続に関する議論；

—毎年恒例のイベントにするのであれば、運営・サポートスタッフの確保が重要だと感じる。設営など裏方の仕事は重労働であり、若い方の協力が得られないのであれば、スタッフも高齢化しており、継続は難しい。

—春まつり実行委員会に連合役員会からの参加をお願いしたが実現せず、その後も自治連合会はかかわらないというスタンスだった。もう少し連携し、連合会にも盛り立てて下さる雰囲気醸成していただきたい。

—自治会長さんは現役世代が多く、共働きなので、自治会活動も土日しかできない、そして土日でもできれば休みたいという中、なかなかたくさんは活動できない。今は60代も働いている。そういう状況の中で、皆ができる範囲で自治会活動やボランティア活動を行っていくにはどうしたらいいか、考えていかねばならない。連合会では、4月から納涼祭の準備、7月頃からアクティブ会の準備があり、並行して春まつりに協力するのは難しい。

—鹿ノ台の高齢者が連合傘下の各委員会で頑張ってきているが、どの委員会も同じようなメンバーで、若い方の参加がない。メンバーの高齢化が進む中、さまざまな連合傘下の活動への参加を回覧などを通じて常日頃呼び掛けているが、参加者は増えていない。

—住民が望まない活動、担っていかない活動は、必然的に衰退するしかない。未来会議は、連合会の仕事を増やさないことに配慮して活動を行ってきた。春まつりも、実施したいという未来会議メンバーとサポーターがいて可能となったが、そのエネルギーがなくなったら縮小または中止するしかない。ただし、次回に向けてサポーターを回覧で募集するなど、担い手を増やす努力はしたら良いと思う。

—総経費19,560円で実施できたのは、テントや音響機器の設営などを業者さんに依頼せず、地域の協力者やボランティアスタッフで賄ったことによる。しかし、スタッフの高齢化が進む中、今後も同じ体制でできるのかが課題だ。ボランティアスタッフの増員など実施体制の強化が必要である。音響機器や会場設備の設置をシルバー人材センターに発注するなどにも検討したい。

提案： アンケートでも継続開催を望む意見が88%を占めていた。来年は3月29日(土)の開催とし(予備日3月30日)、混雑緩和のために開催を30分早めて

10:30～15:00としたらどうか。今後の進め方としては、6月～7月に企画案を作成し、9月に出演者・出店者募集を行うことでどうか。出演者・出店者には、年間計画に組み入れてもらうため、来年の春まつりの日程を早急にアナウンスしたい。

意見：“鹿ノ台校区”の「春まつり」という位置づけでやったらどうか。鹿ノ台の11自治会からの来場者はイベント保険でカバーされている。鹿畑・美鹿の台・うぐいす谷からの来場者も保険でカバーできるよう、各自治会に連合から交渉することは可能だ。

意見：いきいきホールの運営維持でさえ大変である。あまりにいろいろとやりすぎているので、春まつりは今回で終わりにしたい。

意見：会場設営や警備など、裏方が大変で、メンバーが高齢化しているのも事実だが、それでもやって下さる方がまだまだいらっしゃる。できる範囲でやればよいのではないか。

意見：住民目線を見た時、1500人も参加した春まつりを止めるべきなのだろうか。連合会の他のイベントや企画と比較して、優先順位を決めていくべきではないだろうか。

意見：連合会でも、そのような議論はしていこうと考えている。限られた予算をどこに効率的に配分していくか、という議論でもある。仕事の分担については、少しずつ手伝える人にたくさん集まってもらうようなことができれば良いのではないか。

意見：ふれあい音楽祭が今年を最後に終わってしまったので、音楽イベントが春にあるのは良いことではないか。

質問：フリーマーケットの出店者から出店料を取るようなことになる可能性はあるか。

回答：フリーマーケットには住民限定で出店していただくので、出店料を取る予定はない。キッチンカーには出店料を頂く。

—春まつりを継続開催するかどうかについて意見が分かれていたため、採決を行った。

結果：賛成7名 保留1名 反対0名

⇒実施する方向で検討する

支え合い委員会活動状況について

—昨年6月から支え合い事業を本格的に開始した。困り事サポートは、依頼が5件（うち2回依頼が1件、8回依頼が1件）、延べ13回出動した。内容は、隣地に張り出した庭木の剪定や特殊案件でのファンヒーターの灯油補充などである。

—その他、ゴミ出し(1件、昨年4月～今年3月まで週1回で合計52回)を代行した。

—会費は当初年間500円としていたが、この4月より半年で250円とすることに変更した。依頼費は、30分につき100円とし、30分を超える場合は30分毎に追加で100円との料金表を作成した。

鹿ノ台脱炭素まちづくり懇談会の発足

—4月17日に初回の懇談会を開催し、6名が参加した。この懇談会では、環境省の脱炭素先行地域として生駒市が選定されたことを受け、このプロジェクトに整合のとれた活動を行っていく。今後は、市の考え方への理解を深め、また関係機関および連合会との連携を強化していくことになった。

—鹿ノ台では、このプロジェクトの費用でいきいきホールの屋根に太陽光発電設備を設置することが予定されている。5月10日(金)、そのための現地調査(於:いきいきホール)を特別目的会社(SPC)が行い、8月末までに市が具体的な提案にまとめることになっている。

—5月15日(水)13:30～いきいきホールにて、生駒市 SDGs 推進課の担当者による説明会を実施していただく。事前に質問をお渡しして回答を頂くことにもなっている。長期にわたるプロジェクトなので、若い世代と女性にも参加して頂きたいと考えている。

鹿ノ台コミバス月度乗車実績について(報告)

3月度の乗車実績;

—3月の運行日数は12日、乗車人数は月間で609名、1日あたり50.8名、1便当たり6.3人だった。乗車人数の増減は天候と密接に関係していることが統計的にも明確になっている。3月度の収入比率は31.76%で、生駒市の基準をクリアしている。

—昨年8月から今年3月までの累計では、運行日数93日、乗車人数は累計で4,686人、1日あたり平均50.4人で、これは前年同期比で13%の増加である。この期間の累計の収入比率は32.42%で生駒市の基準を上回った。

—4月1日から7月31日まで、利用促進のためのキャンペーンを行っている。いきいきホール前で乗り降りすると、「スーパーいそかわ」の買い物補助券がもらえ、10枚で500円の買い物券をもらえる。是非、コミバスをご利用いただき、安定的な運営となるようご支援いただきたくお願いします。

次回

日時: 2024年5月19日(日) 13:30~16:30
第I部 全体会 13:30~15:10
第II部 分科会 15:15~16:30

幹事は13:15集合

場所: いきいきホール

以上